

まちを元気に

市民活動の拠点施設が誕生

登別市市民活動センターを開設します

わたしたちのまち『のぼりべつ』を元気で活気あふれるまちとするため、市民活動を支援し、その活性化を図る拠点施設『登別市市民活動センター』を開設します。今号と来月号では、センター開設までの経緯やセンターの概要をお知らせします。

誕生編

市民が生み出す 地域の活気

『人が輝き まちがときめくふれあい交流都市 のぼりべつ』。平成8年に市民とともに作りあげたまちの指針『登別市総合計画』にはこんなキャッチフレーズが付けられています。

まちづくりの理念は、基本構想において実現しようとするこれからのまちづくりにおける統一テーマとして設定するもので『自然と調和の取れた住空間、躍動する産業、観光客をあたたく迎え入れるホスピタリティ、個性あふれる文化、豊かな人間性。市民一人ひとりの価値観とライフスタイルが尊重され、豊かさや充実した生が実現できるま

ち。ここには世界の各地から人が集い、世界の情報が集まる。そして、人が、物が、情報が行き交い、活発な交流を生みだすエネルギーがまちにみなぎり、人々のぬくもりとふれあいを育てる。』を基本理念としています。

文化や芸術、体育、歴史、自然、環境、福祉、教育など、さまざまな分野で人々が楽しみを持ち、多くの人とつながりを持ちながら市内の広範囲で活動が展開される。そんな活動の一つ一つから輝きが生まれ、ときめきが生まれてくるのではないのでしょうか。

わたしたちのまち『のぼりべつ』では、数百にのぼる市民団体がさまざまな分野で活動を展開しています。

『登別市市民活動センター』は、地道な市民活動が輝きを増し、地域や社会に貢献できる喜びを実感できる『のぼりべつ』を実現するために開設するものです。

480団体への アンケートと

設置検討委員会での 熱のこもった議論

昨年5月、市は、地方自治体が行う地域活性化などの事

業費を国が100パーセント負担する制度『地域活性化・生活対策臨時交付金』を活用し、まちづくりなどを行う市民活動団体の活動拠点や市民活動支援拠点を設けるため、緑町の旧登別自動車学校の敷地の一部と校舎を購入しました。

この校舎を市民活動の拠点として整備するため、同年5月、市内で広範なまちづくり活動を展開している団体や市民会館、総合福祉センターなどの公的な集会施設で公益的な市民活動をしている480団体へアンケートのご協力をお願いするとともに、480団体を対象とした施設見学会を行いました。

また、6月には、全市民を対象とした施設見学会を実施し、多くの方が見学しました。アンケートでは、市民活動センターがどんな『場』になってほしいか、市民活動を展開する上で困っていること、市民活動センターに備えるべき機能、開館時間など、14項目にわたってお聞きしました。7月には、市民活動センターの開設に当たり、市民の意見を広くお聞きし、具体的な活用方法などを検討するため、市内で活動する10団体から構成する『(仮称)登別市市民